

<北海道熊研究会報>

第 14 号 2013 年 6 月 13 日

ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

[I] 今回は北海道知事宛に、提出予定で、準備を進めている要望事項(会報 12 号に掲載)の
第②項 <熊に関する正しい知識を啓蒙すること>の、(b) <熊が住宅地に出て来る原因について>の文章を下記にご紹介します。

<掲載文章>

原因は4大別される。

- ① 作物（農作物・牧草）・果樹(果実)・家畜・生ゴミ等を索餌採食するため。この種の熊は年齢・性別・母子・兄弟（母から自立した後、兄弟姉妹で短期行動することがある）に無関係である。
- ② 樹林地を徘徊していて、樹林地そばの道路や住宅地付近を通過するため、又は樹林地から樹林地に移動する過程でその間の道路や宅地を横断通過するために出て来ることがある。この種の熊も年齢・性別・母子・兄弟に無関係である。但し、母から自立した若熊は知恵が未発達で人と遭遇する様な時間帯に出て来る事があるが、それ以外の個体は本能的に人を避けて行動する特性が強く、人と遭遇し難い時間帯に通過する。
- ③ 母から自立した若熊が自分の生活圏を確立すべく森林地帯を探索徘徊していて、林地の端に来てしまい、そこに人家や農地や果樹園があるのを見て、好奇心を起し、その好奇心を満たすべく（それを確認すべく）学習に出て来ることがある。札幌市で 2011 年に円山等に、そして 2012 年に藻岩・川沿・真駒内などに夜出て来た熊がこれに該当する。
- ④ その他の原因で出てくることがある。
 - ・稀であるが、発情期の 5 月 6 月に発情した雄を避けて雌が逃げ出て来る事がある。
 - ・更にこれも稀ではあるが、母子で林地を徘徊中に市街地に近づいてしまい、子熊が興奮して市街地に出てしまい、心配した母熊も子について共に出て来てしまうことがある。

<人の居住地での熊の出現に対する対策>

人の居住地での熊の出現に対し、熊と人の両方に対する対策を立てる場合には、以下の事柄について、正しく把握ができていなければ、適切な対策対応が出来ない。

＜先ず以下の事柄を、的確に把握することが必須である＞

① 出沒している熊がどういう熊か。

具体的には、母から今年自立(5月～8月)させられた若熊か。

母子熊か。単独熊か。複数の熊か。兄弟熊か。成獣の単独熊か。

② 出沒している熊の目的は何か(必ず目的・理由がある)。

好奇心からか。食べ物目当てか。単なる通過のためか。その他。

③ 人に危害を与える可能性がある熊か否かを判断する。

これは、出沒場所と出沒時間帯。人に寄って来るか否か。食べ物を漁った形跡又は漁ろうとした形跡が有るか否か(生ゴミを漁さった形跡がある。食堂やコンビニに立ち寄った形跡がある等)で判断する。

＜対策＞

再出を防ぐ為に、出沒箇所とその両側を、200m 程一時的に電気柵(移動式のソーラー式があり、容易に設置できる)を臨時に張れば、まず生態的に熊は出て来ない。

＜満 2 歳未満の熊は人を襲う事は無い＞人身事故の詳細なデータがある 1970 年以降、満 2 歳未満の野生熊が人を襲った事例はゼロであるから、満 2 歳未満(体長約 1.2m 以下)の熊は人を襲う事は無いと言える。札幌市で 2011 年に円山等に、そして 2012 年に藻岩・川沿・真駒内などに夜出て来た熊がこれに該当する。

＜夜にのみ街中に出て来る熊は人を襲わない＞

①夜にのみ街中に出てきている熊は人を慎重に避けて行動している証拠で、熊が出て来ているその様な場所に人が夜間に出歩いても、熊の方で先に人の存在に気づき身を潜めるもので、人を襲うことは先ず無い。

②心配ならば、小さい鈴を鳴らしながら歩くと良い。

こう言う熊も、好奇心が満たされれば、本来の山(樹林地)に戻って行くものである。札幌市で 2011 年に円山等に、そして 2012 年に藻岩・川沿・真駒内などに夜出て来た熊がこれに該当する。

＜街中を移動する熊の特性＞

熊は 100%樹林に依存した生活型の獣であることから、街中を移動する場合でも樹木がある所から樹木が有る所へ移動する。札幌市で 2011 年に円山等に、そして 2012 年に藻岩・川沿・真駒内などに夜出て来た熊がこれに該当する。

＜この続きは次号、第 15 号でご紹介します＞

(了)